

20 日本の貿易

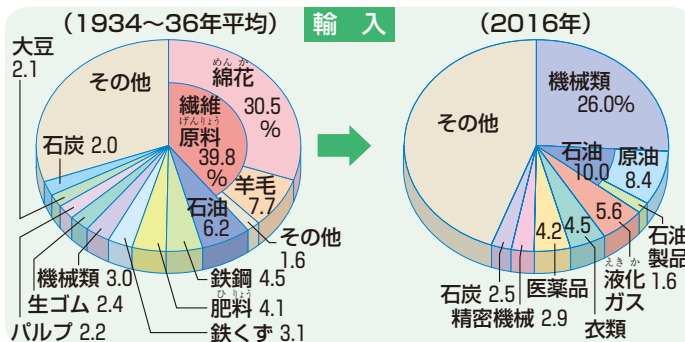
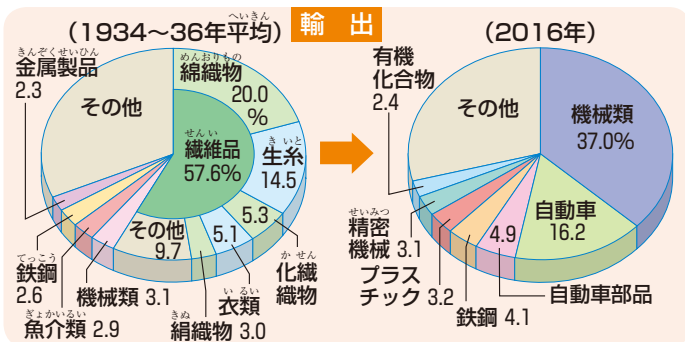
かつて、日本は原材料を輸入し、それを加工した製品を輸出する加工貿易を行っていました。しかし、近年はアジア諸国からの工業製品の輸入が増えています。

貿易

日本は、第二次世界大戦の前と後では産業構造が大きく変化しています。それに伴って、輸出入のようすも変わりました。現在は、石油や機械類のほか、衣類・医薬

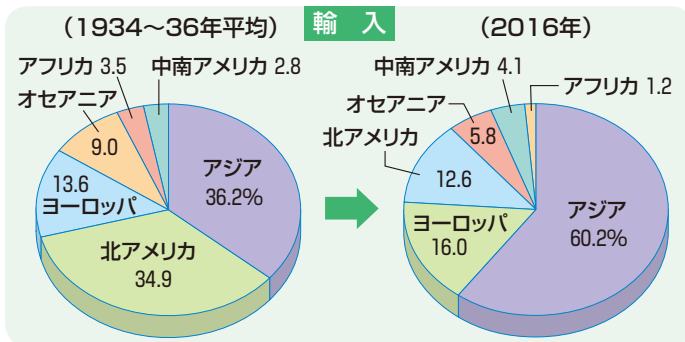
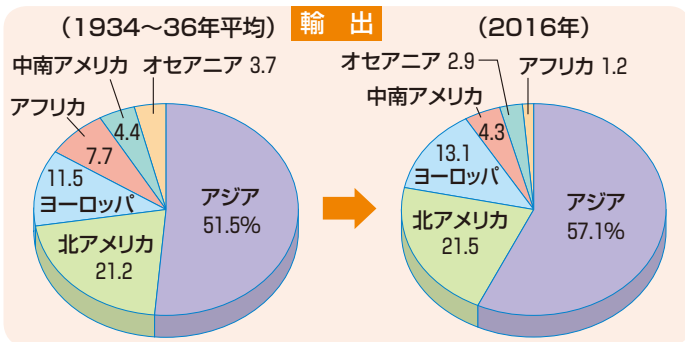
品などを主に輸入し、コンピュータやIC(集積回路)などの高度な技術が必要な機械類や自動車などを多く輸出しています。

データ 輸出入品目の第二次世界大戦前と現在の比較



「日本外国貿易月表」,(日本関税協会資料)など

データ 輸出入先の第二次世界大戦前と現在の比較



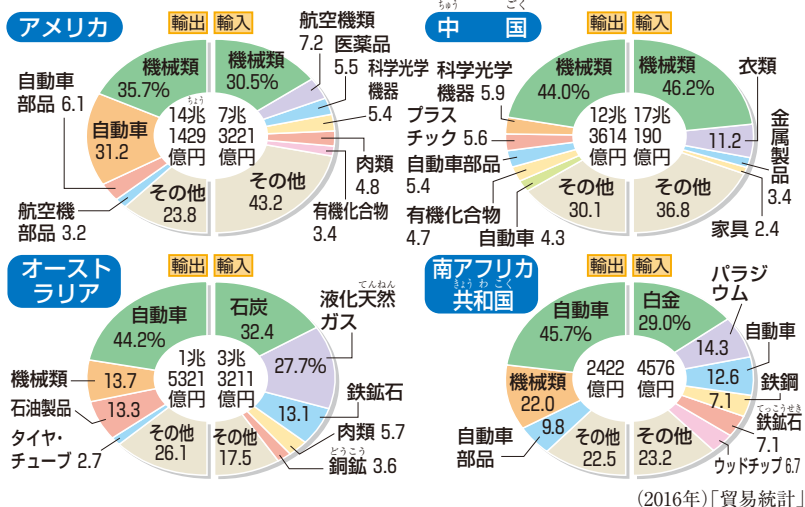
「日本貿易月表」ほか

データ 貿易港の貿易額トップ10

順位	港・空港名	貿易額 (億円)	割合 (%)
1	成田国際	20兆3481	15.0
2	東京	16兆4077	12.1
3	名古屋	15兆2259	11.2
4	横浜	10兆6846	7.9
5	関西国際	8兆6344	6.3
6	神戸	8兆0109	5.9
7	大阪	7兆4857	5.5
8	千葉	3兆4120	2.5
9	三河	3兆0289	2.2
10	川崎	2兆9931	2.2

※輸出・輸入計 (2016年)「貿易統計」

データ 日本と主な国との輸出入品目の内訳



(2016年)「貿易統計」

地理キーワード 「貿易港」と言う場合は、船が発着する港だけでなく、航空機が発着する空港も含まれます。